

多摩うどん「ぼんぼこ」・聖ヶ丘商店街の課題解決プロジェクト

担当者 庄子峻浩(梅澤ゼミ 3 年) 後藤孝輔、橋本祥希(梅澤ゼミ 2 年)

1. 目的

本プロジェクトは、社会福祉法人「時の会」が運営する飲食店多摩うどん「ぼんぼこ」の事業支援、聖ヶ丘地域の活性化を目的としたものである。

2. プロジェクト発足の経緯

多摩うどん「ぼんぼこ」は、障害者の自立支援を第一の目的とし 2010 年 4 月、多摩市聖ヶ丘に開店した。私たちは、多摩うどん「ぼんぼこ」の事業支援を地域プロジェクトとしてお手伝いさせて頂くことになった。

2010 年度は、4 月に開店した多摩うどん「ぼんぼこ」の周辺地域の状況について SWOT 分析を実施し店舗外装、HP・パンフレット・チラシ・店内アンケートを作成した。2011 年度はチラシの作成、HP 更新、店内アンケートの集計を行った。2012 年度も同様な活動が続け、新たに聖ヶ丘商店街、聖ヶ丘地域の課題にも視野を広げた。

昨年度、聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会の会長（2012 年時点）からひじり館の課題についてお話を聞く中で、「お年寄りと子どもの“世代間交流”を図る仕組みを考えてもらえないだろうか」という依頼を頂いた。

3. 2013 年度の活動と成果

(1) 多摩うどん「ぼんぼこ」PJ （継続事業）

① チラシの作成

2013 年度、新たな取り組みとして多摩うどん「ぼんぼこ」を幅広く認知してもらおうと考え、学内でチラシの配布活動を計画した。チラシに掲載する内容は、

- ・季節（夏季）限定メニューのお知らせ
 - ・ぼんぼこ特製ふりかけクーポンの添付
 - ・わかりやすい周辺地図の添付
- …などである。

またチラシのデザインも以前のものより綺麗でわかりやすいものに改良した。当初はふりかけクーポンではなく割引券を添付することを提案したが、「売り上げに大きく支障が出てしまうため、割引券は難しい」とぼんぼこの店長から伝えられ、結果ふりかけクーポンの添付に至った。

チラシは聖ヶ丘エリアで配布するチラシと学内で配布するチラシの 2 種類を作成した。しかし、学内でチラシを配布するにあたり問題が発生した。「ぼんぼこの役割、事業内容を明確に伝えないと営業活動に繋がってしまうのではないか。」ということである。

今後、「ぼんぼこ」をどのように認知してもらえるか最適案を検討し、多くの学生に知ってもらい、利用してもらいたいと考えている。

② 地域行事への参加

昨年度と同様、「ひじり館こども夏祭り」に参加し地域の方々との交流を図ることが出来た。聖ヶ丘エリアにお住まいの方々や、ひじり館を利用している住民の方々の要望を祭りの場を通じて直接確認しておくことが大切であると考えた。

祭りに参加してわかったことは、ひじり館を利用している児童が我々の思っていたより多かったことだ。また、幅広いエリアからひじり館児童館に来ていることがわかった。一方で、我々と同世代の行事への参加が少なかったことが気になる場所であった。想像できることではあったが、若年層の参加割合が子ども達の数の割合を下回っていることが祭りに参加してわかったことだ。若者が地元の地域活動に参加するハードルは高い。

(2) ひじり館・聖ヶ丘エリアの課題解決PJ（新規事業）

上述したように、ひじり館利用者の現状としてほとんどが小学生から中学生、もしくは60歳以上の高齢者ということがわかった。高齢者はひじり館を休息、憩いの場として活用したいと考えているが、子どもたちは友達思いっきり遊ぶ場と考えている。そのため高齢者の方々は子どもが騒がしくて落ち着けないという不満を持っており、その不満を解消することが課題となっている。

その問題の解決策として、まずは子供たちと高齢者の方々が繋がりを持つことであろうと考えた。お互いが親しくなれば、多少騒がしくても気にならないし、肯定的に受け止められる。また、話しをして解決することもできるのではないかと考えた。

そこで子どもと大人が交流できるイベントをPJ内で検討した。

① イベント「習字で交流を図ろう」の企画

我々は、子供たちと高齢者の方々と交流を図るため「習字で交流を図ろう」というイベントを企画した。

冬休みは書初めの宿題がでる。しかし団地住まいでは、子どもが書道で墨を使うのは嫌であろう。また、暮れの忙しい時期に外で遊んでほしいという親も多いと思う。そこで、ひじり館で、お年寄りの方々に書初めの指導をしていただき世代間交流をはかるというものである。

② イベント開催するまでの流れ

2013年7月25日(木) ひじり館特別事業部副部長に世代間交流企画の企画書を提出。

2013年9月4日(水) 特別事業部副部長と企画案を検討、実施を決定。

2013年10月21日(月) 聖ヶ丘小学校校長先生に企画説明に伺い、ご了承をいただき、

ポスター掲示を行った。

2013年11月13日(水) 連光寺小学校副校長先生、連光寺児童館に企画説明に伺いポスター掲示を行った。

イベント開催日は、12月28日土曜日。場所はひじり館で、13:00~15:00を予定している。

4.今後の課題

- ・ぼんぼこのHPの更新
- ・学内での広報活動方法
- ・世代間交流企画の計画
- ・メンバー間で情報共有の徹底

5.まとめ

今年度は昨年度から続いているぼんぼこのチラシの作成に加えて、自ら企画したひじり館世代間交流イベントを開催するところまで至ったことは収穫であった。

しかし、当初企画していた「ぼんぼこ」PJについては学内広報活動が実施できなかったことは、次年度の課題であるといえる。今年度は祭りの実行委員会に準備段階から参加し、時間をかけて活動を行えた。このことが活動成果に表れるのだということを実感した。

また、活動後には実行委員会の皆様から外部評価を必ず文書でいただくことを行ったことで、そこからの反省材料を次のイベントに活かすことができた。

次年度も聖ヶ丘地域、ひじり館の現状を調査し、ひじり館で世代をこえた交流を促せるイベントを考案し開催していく予定だ。今年度だけの単発なイベントではなく継続的にイベントを開催していけるよう努力していきたい。

6.謝辞

何事にも時間の掛かる我々の作業にお付き合いいただき、多々ご迷惑をお掛けしている社会福祉法人「時の会」理事長、多摩うどん「ぼんぼこ」店長、聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会の皆様、ひじり館特別事業部会の皆様、多くの方にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。